当日配布資料２

バス利用実態調査結果概要

令和２年（2020 年）10 月に本町域で運行している路線バス（杉生線（杉生系統）及び日生ニュータウン線（伏見台配水池前系統））及びコミュニティバス「ふれあいバス」を対象に、バス利用実態調査を実施しています。調査結果概要を以下に示すとともに、参考資料２にて調査結果をまとめています。

1.　調査概要

路線バス（杉生線（杉生系統）及び日生ニュータウン線（伏見台配水池前系統））

・令和２年（2020 年）10 月 27 日（火）の始発便から終発便の全便を対象に実施。

コミュニティバス「ふれあいバス」

・令和２年（2020 年）10 月 26 日（月）から 31 日（土）（計６日間）における４コース（青コース・赤コース・黄コース・緑コース）の始発便から終発便の全便を対象に実施。

調査方法

・調査員が乗車するお客様に対して、乗車バス停をチェックした乗車カードを配布し、降車時に回収し、降車バス停をチェックする。

・乗車したお客様は、乗車時に受け取った乗車カードの調査項目について回答していただき、降車時に回収箱へ投函していただく。

調査時の様子

【路線バス】

【コミュニティバス「ふれあいバス」】

2.　調査結果概要

2.1　路線バス：杉生線（杉生系統）

・利用者数は、日生中央方面が 113 人/日（令和元年（2019 年）：137 人/日）、杉生方面が 89 人/日（令和元年（2019 年）：129 人/日）、合計が 202 人/日（令和元年（2019 年）：266 人/日）であり、新型コロナウイルス感染症拡大による影響もあり、令和元年と比べて約３割減少。

・運行便別利用者数は、日生中央方面が 22 人/便（第２便）が最も多く、次いで 19 人/便（第９便）、杉生方面が 15 人/便（第８便）が最も多く、次いで 13 人/便（第７便）である。

・乗継利用は、約８割が「能勢電鉄との乗継利用あり」と回答。

・許容できる上限金額は、約６割が 500 円を許容できると回答。

・新型コロナウイルス感染症拡大によるバス利用の変化は、約８割が「変わらない」、２割以上が「減った」と回答（※「増えた」の回答は１割未満）。

2.2　路線バス：日生ニュータウン線（伏見台配水池前系統）

・利用者数は、日生中央・若葉二丁目方面が 84 人/日、伏見池公園前方面が 127 人/日（※令和 2 年（2020 年）の本調査が初めて）。

・運行便別利用者数は、日生中央・若葉二丁目が 15 人/便（第 3 便）が最も多く、次いで 12 人/便（第 6 便）、伏見池公園前方面が 16 人/便（第 8 便）が最も多く、次いで 15 人/便（第 3 便及び第 9 便）である。

・乗継利用は、約 9 割が「能勢電鉄との乗継利用あり」と回答。

・許容できる上限金額は、9 割以上が 200 円を許容できると回答。

・新型コロナウイルス感染症拡大によるバス利用の変化は、約 8 割が「変わらない」、約 2 割が「減った」と回答（※「増えた」の回答は 1 割未満）。

2.3　コミュニティバス「ふれあいバス」

・6 日間の利用者数は 556 人であり、新型コロナウイルス感染症拡大による影響もあり、令和元年（2019 年）の 783 人と比べて約 3 割減少。

・コース別利用者数は、青・赤・緑コースが令和元年（2019 年）と比べて減少、黄コースはほぼ横ばい。なお、令和 2 年（2020 年）5 月 25 日（月）のチョイソコいながわの実証実験開始時に、一部区間の運休・再編及びダイヤ改正を実施。

・利用者の年齢は、約 9 割が 70 歳以上である。

・利用頻度は、「週に 3 日以上」が 3 割以上、「週に 1～2 日」が 4 割以上で回答。

・運賃の支払い方法は、「すこやかカード」が約 8 割を占める。

・乗継利用は、5 割以上が「乗継利用あり」と回答しており、能勢電鉄が最も多く、次いで路線バス、ふれあいバス、チョイソコいながわの順である。

・許容できる上限金額は、7 割以上が 200 円を許容できると回答。

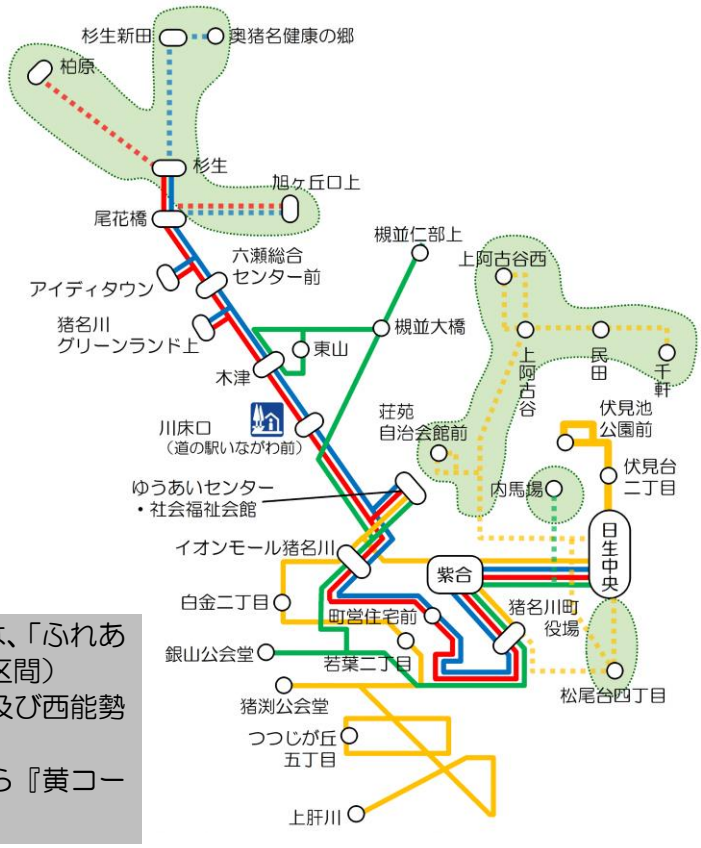
・新型コロナウイルス感染症拡大によるバス利用の変化は、7 割以上が「変わらない」、2 割以上が「減った」と回答（※「増えた」の回答は 1 割未満）。

●コミュニティバス「ふれあいバス」
利用者数の内訳

	令和2年（2020年）	令和元年（2019年）
青コース	140	202
赤コース	128	208
黄コース	208	205
緑コース	80	168
合計	556	783

※各年6日間の合計

●一部区間の運休・再編の概要
（令和２年（2020 年）５月 25 日（月）実施）



- 『チョイソコいながわ』を運行するエリアは、「ふれあいバス」を運休（※図中の破線区間が運休区間）
- 路線バス杉生線の杉生～柏原・杉生新田間及び西能勢線（阿古谷系統）の全区間を運休
- 伏見台地区内の運行コースは、緑コースから『黄コース』に再編